

アクセスマップ



◆アクセス 電車・・・武蔵小金井駅までJR中央線で東京駅から40分、新宿駅から25分
バス・・・JR武蔵小金井駅北口6番バス乗り場より
京王バス「中大循環」に乗車し約5分「学芸大東門」にて下車
(※お車での来校はご遠慮ください)

◆参加費&資料代 2000円(参加費1000円・資料代1000円)
学生は1000円です。受付にてお支払ください。



◆申し込み方法 1月31日(木)までに事前申込をお願いします。
・事前申込は本校ウェブサイト上にリンクがある専用申込フォームからのみとさせていただきます(QRコードからアクセス可)。
・Eメール、ファクシミリ、郵送、電話での事前申込は受け付けておりません。
・当日受付もできますが、事前申込のない場合は資料をお渡しできないこともございます。

主催：東京学芸大学附属小金井小学校

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL 042-329-7823 FAX 042-329-7826

第10回

KOGANEI

授業セミナー

考えよう これからの授業



2019年2月2日(土)12:15~
受付開始

主催：東京学芸大学附属小金井小学校
後援：東京都教育委員会・小金井市教育委員会

第10回
KOGANEI
授業セミナー

12:15 13:00 13:45 14:05 14:50 15:00 17:00頃

12:15	13:00	13:45	14:05	14:50	15:00	17:00頃
受付	提案授業①		提案授業②		協議・講評・講演	

生活

『まちのやさしさ たんけんたい』
提案授業①(2年) ※60分授業
齊藤 和貴

シティズンシップ教育としての生活科とは、どのような授業なのか?社会科という切り口とは別の自立への基礎を養う生活科だからこそシティズンシップ教育の在り方を模索しながら実践を進めていく。生活科誕生から30年を経て、新たな10年のスタートの今、生活科の新たな可能性を考えていく。

講師 **小林 宏己**
早稲田大学教育・総合科学学術院 教授

国語

『プログラムのひみつを
発表しよう』
提案授業①(5年) **ICT**
鈴木 秀樹

コンピュータで作るプログラムのひみつについて調べ、資料を使って効果的な発表を行うことを目指す単元である。「コンピュータのプログラムを分析したり、自らプログラミングを行ったりすることでプログラミング的思考が養われれば、これを活用してわかりやすい発表を行うことができるのではないか」という仮説に基づく授業を提案する。

講師 **中川 一史**
放送大学 教授

国語

『身の回りの食べ物を研究しよう』
提案授業②(3年)
大塚 健太郎

新学習指導要領の「知識・技能」に新設された「情報」。この新事項をどのように解釈し、どのように授業で具現化すれば良いかについて、説明的文章を使い提案する。また、カリキュラムマネジメントの視点からも、どのように単元をつないできたのかも示していく。

講師 **中村 和弘**
東京学芸大学 准教授

社会

『わたしたちの生活と環境』
提案授業②(5年)
根本 徹

今、子供たちは、森林や環境の保全へどれだけの実感を持って学んでいるだろうか。知っているだけ、分かっているだけでは、環境の保全や自然災害の防止・減災は滞る。情報を生かしつつ、自分を守り、他者も自然も尊重し続ける学習を追究したい。

講師 **澤井 陽介**
国士舘大学 教授

理科

『光と音の性質』
提案授業②(3年)
三井 寿哉

新学習指導要領から、第3学年の理科では「問題を見出す力」が求められている。そこで本セミナーでは、新単元「音の性質」の実践を通し、素材に触れながら現象を比較し、そこから興味・関心を得ながらこれから追究したいクラス全体の問題を引き出す授業展開を提案する。

講師 **有本 淳**
国立教育政策研究所 学力調査官

図工

『のぞいてみよう みらいへの道』
提案授業①(6年) ※60分授業
守屋 建

もしもこの場所が・・・。ちょっとしたきっかけから発想が広がり、造形活動はスタートする。その過程で身体感覚を活用しながら、その子だけの資質・能力を動かせる。子供にとって共有された学習環境の価値と、個別最適化した学びについて、また、活動の中で子供と共に在る教師の役割について、実践から考えていく。

講師 **奥村 高明**
日本体育大学 教授
西村 徳行
東京学芸大学 准教授

『公平・公正・社会正義』
提案授業①(2年) **道徳**
遠藤 信幸

道徳の時間が「特別の教科 道徳」となり、新たに低学年に「公正、公平、社会正義」の内容項目が追加された。低学年における「公正、公平、社会正義」のよりよい教材や指導法とはいかなるものであるのかを価値分析を研究の柱として探っていく。

講師 **永田 繁雄**
東京学芸大学 教授

『角柱と円柱』
提案授業①(5年) **算数**
加固 希支男

第5学年の立体図形の学習では、角柱と円柱を扱う。角柱と円柱を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだすことが重要な活動となる。その際、「なぜそこに着目したのか」という発想の源を言語化し、立体図形の学習における着眼点を豊かにする学習を目指し、将来の立体図形の学習にも役立つ力を育みたい。

講師 **中村 光一**

『はこの形』
提案授業②(2年) **算数**
田中英海

第2学年の立体図形の学習では、正方形や長方形の面で構成される箱の形について学習する。箱の形をしたものを観察したり、構成したり、分解したりする活動を丁寧に取り扱う。平面図形で学習した頂点、辺、面といった図形を構成する要素に着目して立体図形を捉え、根拠を基に筋道立てて考え説明する児童を育てる。

講師 **東京学芸大学 教授**

『けがの防止』
提案授業②(5年) **健康** **ICT**
佐藤 牧子

交通事故や身の回りの生活におけるけがの防止では、危険を予測しても実生活において安全な行動につながらないことがある。本授業では、床に投影するインタラクティブなプロジェクション教材を活用し、生活場面での安全な行動や環境調整を視覚的にアプローチして学校生活でのけがの防止を考える実践を提案する。

講師 **中川 一史**
放送大学 教授

英語

『私と世界の子供たち
～ One day on the earth ～』
提案授業①(5年)
中村 香

小学校英語が大切にすべきことは?本校では、教科化にむけて、外国語の基本的な英語表現に慣れ親しませながらも、子供の創造的思考や感情を刺激する授業づくりをめざしている。We can! "Unit4 What time do you get up?"を基に、同じ今という時を過ごす世界の子供たちに目を向けさせる授業を展開する。

講師 **阿部 始子**
東京学芸大学 准教授

『器械器具を使った運動遊び』
提案授業①(1年) **体育**
佐々木 賢治

ここ数年、中学年を続けて担任して感じたことは、低学年期の運動経験の重要性である。低学年でしっかりとした動ける体づくりを行っておくことが、その後の体育学習の可能性を広げることにつながる。久しぶりに1年生の担任となり、子供たちとワクワク楽しい運動遊びの授業づくりについて考えると、これからの低学年体育に求められる体育授業の在り方を考えたい。

講師 **仲宗根 森敦**
東京学芸大学 講師

『ネット型ゲーム
「ラケットテニピン」』
提案授業②(4年) **体育**
今井 茂樹

これまでに授業者は、攻守一体プレイネット型ゲーム「テニピン」を開発し、授業実践を積み重ねてきた。その成果と課題をもとに、「難しい」と言われる「用具操作(ラケット)」と「直接返球」に視点をあて、新たな「ラケットテニピン」の実践を提案する。この実践提案は、新学習指導要領で例示された「バドミントンやテニス」を基にした易しいゲームの一事例として貢献できると考える。

講師 **鈴木 秀人**
東京学芸大学 教授

『どう作る?野菜サラダ』
提案授業②(5年) **家庭(食育)**
西岡 里奈・横山 英史子

普段の調理を少し変えることで、環境に配慮し、地球にやさしくしらすることができる。本時では、栄養教諭と一緒に学校給食を生きた教材として活用しながら、ゆて野菜サラダの調理実習を通して食と環境について考えていく。食品ロスや無駄を減らすために、どのような工夫ができるか考え、実践する授業を提案する。

講師 **野島 昌浩**
農林水産省食料産業局
食品産業環境対策室長

提案授業①

提案授業②